

学 校 法 人 新 庄 学 園

# 新 庄 東 高 等 学 校

令和4年度

第2学年Aコース

## 教科目学習計画

～ 校 訓 ～

“自らの手で人生を開拓しよう”

それは努力によって      そして方法を考えて      すべて敬虔な態度で

教科	国語	科目	現代文	学年	2	コース	E A	単位数	2	担当者	菅野 裕美
使用教科書	東京書籍 「新編現代文B」										
副教材											
目 標	<p>近代以降の様々な文章を的確に理解し、ものの見方、感じ方、考え方を深め、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育成する。</p> <p>①【知識、技能】言語文化および言葉の特徴や、漢字などについて理解し、知識を身につける。</p> <p>②【思考、判断、表現】目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめる力を身につける。</p> <p>③【主体的に学習に取り組む態度】国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、その向上を図ろうとする態度を養う。</p>										
備 考											

1 学期			2 学期			3 学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	随想「さくらさくらさくら」	5	8	評論「安心について」	8	1	小説「こころ」	18
5	小説「みどりのゆび」	7	9	小説「山椒魚」	8	2		
6	評論「『ふしぎ』ということ」	8	10	評論「思考の肺活量」	8	3		
7	〃		11	小論文	8			
			12					

教科	国語	科目	古典	学年	2	コース	E A	単位数	2	担当者	石山
使用教科書	東京書籍「新編古典B」										
副教材	古語単語集										
目 標	<p>古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。</p> <p>①【知識、技能】 古典の理解に役立てるため、伝統的な言語文化の語句の意味や用法、文の構造を理解し、知識を身につける。</p> <p>②【思考、判断、表現】 古典を読んで内容や思想、感情を展開に即して的確に捉え、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにし、自分の考えを深める。</p> <p>③【主体的に学習に取り組む態度】 古典を読む力を進んで高め、作品の価値を自ら考察し、我が国の文化の特質や中国の文化との関係について理解を深める。</p>										
備 考											

1 学期			2 学期			3 学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	古文 説話	8	8	古文 随筆	8	1	古文 近世の紀行	8
5	漢文 故事と小話	6	9	漢文 史記	8	2	三国志の世界	6
6	古文 日記	6	10	古文 軍記物語	8	3		
7	漢文 唐詩	6	11	漢文 寓話	6			
			12					

教科	地歴	科目	地理 A	学年	2	コース	A	単位数	2	担当者	川村 誠也
使用教科書	帝国書院 高校生の地理 A										
副教材	帝国書院 新詳高等地図										
目 標	① 身近な地域の特色・文化や地域情報を理解し、興味関心を持つ。 ② 世界の諸地域の文化を分かつ要因となる、地理的事象について理解する。 ③ 世界の諸地域の文化や体制に興味関心を持ち、発展的に探究する。 ④ クラスメートと協働し、他者とともに学ぶ姿勢を身につける。										
備 考											

1 学期			2 学期			3 学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	オリエンテーション	2	8	2 章世界の自然環境と文化	1 4	1	南北アメリカ・オセアニア地域の概観	1 0
5	第 2 部 身近な地域の課題 1 章 身近にあるさまざまな地図	8	9	1・2 章末単元テスト 3 章世界の諸地域の生活・文化 アジア・アフリカ地域の概観	1 4	2	映画学習・映画企画個人レポート 提出 クラスで一本の海外映画を作成しよう	
6	2 章 日本の自然環境と防災	4	10	映画学習 アジア・アフリカ単元テスト		3	企画決定・役割分担・撮影・宣伝	
7	3 章 身近な地域の課題と地域調査 フィールドワーク（地域調査） 第一部 現代世界の特色と世界の諸地域の課題 1 章 旅からとらえる現代世界	1 0	11	ヨーロッパ・ロシア地域の概観 映画学習			映画上映会	
			12	世界のクリスマス調べてみよう	7			

教科	社会	科目	地理B	学年	2	コース	A	単位数	2	担当者	高橋 慶司
使用教科書	帝国書院 新詳地理B										
副教材	新詳高等地図										
目標	①調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べることができるようになる。 ②広い視野を持ち、グローバル化する国際社会を多角的にみる力を養う。 ③まとめた情報を他者に分かりやすく伝えるために、表現や内容を客観的に分析し伝えることができる。 ④問題集や過去問を活用し、自分の学力を客観的に考察し、対策できるようになる。 ⑤模試を活用し、知識定着を自主的に図る。										
備考	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">レポート</div> 内容 A 発展的に情報収集を行い、表現もかなり工夫し作成した。 B 発展的に情報収集を行い、無作為に作成し提出した。 C 情報収集が足りず、作成に煩雑さを感じる。 提出 A 事前に内容のチェックを受け、修正して期限内に提出した。 B 提出期限内に提出した。 C 提出期限に間に合わなかったが、自分から申告し提出した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">グループワーク</div> 1、コミュニケーション    2、協調性    3、課題達成度 それぞれを5段階評価										

1 学期			2 学期			3 学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	地理情報と地図	5	8	世界の工業・第3次産業 テスト	5	1	民族を宗教	6
	テスト			人口問題	2		民族領土問題	4
	世界の地形 テスト	6	9	村落と都市・居住問題	4	2	レポート	3
5	世界の気候 テスト	8		テスト				
	環境問題	2	10	衣食住	5	3		
	レポート			レポート				
6	農林水産業 食糧問題	3	11		2			
	テスト	3						
7	エネルギー資源・エネルギー問題	2						
		4	12					

教科	数学	科目	数学Ⅱ	学年	2	コース	講座1	単位数	4	担当者	石川一貴
使用教科書	高等学校 数学Ⅱ (数研出版)										
副教材	チャート式 基礎からの数学Ⅱ・B (数研出版) 4STEP 数学Ⅱ+B (数研出版)										
目標	①数学における基本的な事項を理解し、活用する力を身につける。 ②事象を論理的に考察する力を養う。 ③事象を論理的に表現する力を養う。 ④自らの課題を分析し、改善しようと努める態度を養う。 ⑤仲間とともに事象について考察し、評価・改善する態度を養う。										
備考	レポートや口頭試問を実施する際は、実施前に評価基準の詳細を提示する。										

1 学期			2 学期			3 学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	第1章 式と証明		8	第4章 三角関数		1	第3節 積分法	20
	第1節 式と計算	9		第1節 三角関数		2		
	第2節 等式・不等式の証明	6	9	第2節 加法定理	10			
5	第2章 複素数と方程式			第5章 指数関数と対数関数	15	3		
	第1節 複素数と2次方程式の解	6	10	第1節 指数関数				
6	第2節 高次方程式	9		第2節 対数関数	15			
	第3章 図形と方程式		11	第6章 微分法と積分法	15			
	第1節 点と直線	6		第1節 微分係数と導関数				
7	第2節 円	6		第2節 関数の値の変化	6			
	第3節 軌跡と領域	8	12		9			

教科	数学	科目	数学Ⅱ	学年	2	コース	講座2	単位数	4	担当者	加藤達也 中島大輝
使用教科書	改訂版 高等学校数学Ⅱ (数研出版)										
副教材	REPEAT 数学Ⅱ (数研出版)										
目標	①数学における基本的な事項を理解し、活用する力を身につける。 ②事象を論理的に考察する力を養う。 ③事象を論理的に表現する力を養う。 ④自らの課題を分析し、改善しようと努める態度を養う。 ⑤仲間とともに事象について考察し、評価・改善する態度を養う。										
備考	レポートや口頭試問を実施する際は、実施前に評価基準の詳細を提示する。										

1 学期			2 学期			3 学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	数Ⅱ 第1章 式と証明 第1節 式と計算	15	8	第2節 高次方程式	20	1	第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数	10
5	第2節 等式と不等式	10	9			2	第2節 対数関数	10
6	数Ⅰ 第5章 データの分析	10	10	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線	20	3		
7	第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解	15	11	第2章 円	20			
			12	第3節 軌跡と領域	10			

教科	数学	科目	数学 B	学年	2	コース	EA	単位数	2	担当者	加藤 達也
使用教科書	高等学校 数学 B (数研出版)										
副教材	チャート式 基礎からの数学 II・B (数研出版) 4STEP 数学 II + B (数研出版)										
目 標	①数学における基本的な事項を理解し、活用する力を身につける。 ②事象を論理的に考察する力を養う。 ③事象を論理的に表現する力を養う。 ④自らの課題を分析し、改善しようと努める態度を養う。 ⑤仲間とともに事象について考察し、評価・改善する態度を養う。										
備 考	○以下の 5 つの観点 (20 点ずつ) で評価します。 レポートの評価の観点 1, 数値の計算が正しいか 2, 定理・定義が適切に使われているか 3, 図やグラフが適切に使われているか 4, まとめがしっかりかけているか 5, 字は丁寧に書いているか ○ワークシートの取り組みを 3 点・2 点・1 点の 3 段階で評価します。										

1 学期			2 学期			3 学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	第 1 章 平面上のベクトル		8	第 2 章 空間のベクトル	12	1	第 3 節 漸化式と数学的帰納法	10
5	第 1 節 ベクトルとその演算	10	9	第 3 章 数列		2	演習問題	10
6	第 2 節 ベクトルと平面図形	12	10		第 1 節 等差数列と等比数列	9		
7			11		第 2 節 いろいろな数列	7		
			12			3		



教科	理科	科目	物理基礎	学年	2	コース	EA	単位数	2	担当者	山田 洋平
使用教科書	改訂版 新編 物理基礎 (数研出版)										
副教材	リード Light ノート 物理基礎 四訂版 (数研出版)										
目 標	①物理学における基本的な概念や原理・法則を理解し、自然の物事・現象を科学的に探究する力を身に付ける。 ②事象に対する『自らの認識』と『他者の認識』を俯瞰して比較し、仲間との議論を深めることができる。 ③自らの課題を認知し、改善のために繰り返しの試行錯誤や努力をすることができる。										
備 考	○ワークシート・副教材への取り組みを A・B・C の 3 段階で評価 (教員評価および自己評価) します。 ○3 年次『物理』履修予定者には、放課後や A スタ等で補講を行います。										

1 学期			2 学期			3 学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	オリエンテーション	1	8	4. 力学的エネルギーの保存		1	第4編 電気	
	第1編 運動とエネルギー			2学期チェックテスト①			第1章 物質と電気	5
	第1章 運動の表し方	9		第2編 熱	1		1. 電気の性質	
5	1. 速度		9	第1章 熱とエネルギー		2	2. 電流と電気抵抗	
	2. 加速度			1. 熱と熱量	4		3. 電気とエネルギー	
6	3. 落体の運動			2. 熱と物質の状態		3	第2章 磁場と交流	4
	第2章 運動の法則	10	10	3. 熱と仕事			1. 電流と磁場	
	1. 力とそのはたらき			4. 不可逆変化と熱機関			2. 交流と電磁波	
7	2. 力のつりあい			第3編 波			3学期チェックテスト	1
	3. 運動の法則			第1章 波の性質	7		第5編 物理学と社会	
	4. 摩擦を受ける運動		11	1. 波と媒質の運動			第1章 エネルギーの利用	2
	5. 液体や気体から受ける力			2. 波の伝わり方			1. エネルギーの移り変わり	
	1学期チェックテスト	1		第2章 音	7		2. エネルギー資源と発電	
	第3章 仕事と力学的エネルギー	8	12	1. 音の性質			第2章 物理学が拓く世界	2
	1. 仕事			2. 発音体の振動と共振・共鳴			1. 摩擦をコントロールする	
	2. 運動エネルギー			2学期チェックテスト②	1		2. エネルギーを有効利用する	
	3. 位置エネルギー						3. 見えないものを見る	

教科	理科	科目	生物基礎	学年	2	コース	A	単位数	2	担当者	加藤 義広 丸橋 慎吾
使用教科書	数研出版 改訂版 新編 生物基礎										
副教材	数研出版 四訂版 リード Light ノート 生物基礎										
目 標	①日常生活や社会とのかかわりを考えるための科学的素養を高める。 ②グループワークを通して、チームワーク力を身に付ける。 ③生物学的事象を論理的に考察することができる。 ④生物学的事象を論理的に表現することができる。 ⑤生物学的事象の問題点を分析し、解決策を考案することができる。										
備 考											

1 学期			2 学期			3 学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	第1編 生物と遺伝子		8	第2編 生物の体内環境の維持		1	第5章 生態系とその保全	
	第1章 生物の特徴			第3章 生物の体内環境とその維持			第1節 生態系とその成り立ち	4
	第1節 生物の多様性と共通性	4		第1節 体内環境としての体液	3	2	第2節 物質の循環とエネルギーの流れ	4
5	第2節 エネルギーと代謝	3	9	第2節 腎臓と肝臓による調節	3			
	第3節 光合成と呼吸	4		第3節 神経とホルモンによる調節	4	3	第3節 生態系のバランスと保全	6
6	第2章 遺伝子とそのはたらき		10	第4節 免疫	6			
	第1節 遺伝情報とDNA	3		第3編 生物の多様性と生態系				
	第2節 遺伝情報の発現	3		第4章 植生の多様性と分布				
7	第3節 遺伝情報の分配	6	11	第1節 植生とその成り立ち	3			
				第2節 植生の移り変わり	3			
			12	第3節 気候とバイオーム	6			

教科	保健体育	科目	体 育	学年	2	コース	E A S T	単位数	2	担当者	齋藤 真範
使用教科書											
副教材											
目 標		<p>各種の基本動作を習得し、基本体力の向上をはかる。また、安全と事故防止に注意し、互いに協力し合って練習・競技・ゲームができるようにする。自分の健康・体力に関心を持ち進んで運動する習慣を養い、生涯にわたって運動に親しむ基礎をつくる。</p> <p>①. 授業に積極的に参加し各種目の特性に関心を持ち取り組んでいる。</p> <p>②. 自分の能力に応じた目標や課題を持ち行っている。</p> <p>③. グループ練習やゲームで仲間と共に課題を持ち練習している。</p> <p>④. パスなどの基本的な動作をスムーズに行うことができる。</p> <p>⑤. 各種目の特性、ルールを理解している。</p>									
備 考											

1 学期			2 学期			3 学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	・オリエンテーション、整列柔軟、補強運動	3	8	・柔軟、補強運動	2	1	・柔軟、補強運動	2
5	・スポーツテスト	5	9	・バレーボール	12	2	・選択種目（屋内）フットサル、バスケットボール、バドミントン、卓球	3
6	・陸上競技（短距離走 走り高跳び）	8	10	・選択種目（屋外）サッカー、ソフトテニス、ソフトボール、グランドゴルフ	4	3	・マット運動	10
7	・選択種目（屋外）サッカー、ソフトテニス、ソフトボール、グランドゴルフ	4	11	・バスケットボール	12		・スキー（アルペン）1, 2年	18
			12	・選択種目（屋内）フットサル、バスケットボール、バドミントン、卓球	4			

教科	保健体育	科目	保健体育	学年	2	コース	E A S T	単位数	1	担当者	阿毛 清夏 佐藤 健
使用教科書	現代高等保健体育(大修館書店)										
副教材	現代高等保健体育ノート(大修館書店)										
目 標	<p>I ①年齢とともに変化する心と体に応じた健康について学ぶ。  ②私たちを取り巻く自然環境や社会、制度の理解を深め、健康な生活を実現できるようにする。  II ③授業を振り返り、要点をしっかりとまとめレポートを作成できるようにする。  III ④授業内容をノートにまとめ、整理できるようにする。</p>										
備 考	将来の生活のために役立つだけでなく、共に生きる他の人々や健康づくりや体育・スポーツ活動にも活かせるような学習内容にする。										

1 学期			2 学期			3 学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	・オリエンテーション ～保健編2～「生涯を通じる健康」	1	8	9. 医療制度とその活用  ～11. 様々な保健活動や対策	3	1	クロスワード3  ★3学期まとめテスト 答案返却・解説	2 2
5	1. 思春期と健康～5. 家族計画と人工妊娠中絶	5	9	クロスワード2  ★2学期まとめテスト① 答案返却・解説	2	2	～体育編より～  オリンピック 競技(種目)紹介レポート	6
6	DVD「思春期と性」「性感染症・エイズ予防」  ★1学期まとめテスト 答案返却・解説	1 2 3	10	～保健編3～「社会生活と健康」  1. 大気汚染と健康  ～5. 食品衛生活動のしくみと働き	2 2 5	3		
7	6. 加齢と健康 ～8. 保健制度とその活用		11	★2学期まとめテスト② 答案返却・解説	2			
			12	6. 食品と環境の保健と私たち～7. 働くことと健康 8. 労働災害と健康 9. 健康的な職業生活	4			

教科	英語	科目	コミュニケーション英語Ⅱ	学年	2	コース	A	単位数	4	担当者	佐藤 寛之
使用教科書	Prominence English Communication II (東京書籍)										
副教材	New Favorite II (東京書籍)										
目 標	①英語における基本的な文法や表現を理解し、活用する力を身につける。 ②文法事項を論理的に説明できる力を養う。 ③状況に応じた表現ができる力を養う。 ④自らの課題を分析し、改善しようと努める態度を養う。 ⑤仲間とともに切磋琢磨する態度を養う。										
備 考											

1 学期			2 学期			3 学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	Lesson 1 The Power of Empathy	8	8	Lesson 4 Bonsai Goes Global	4	11	Lesson 6 Does It Spark Joy?	16
5	Lesson 1 The Power of Empathy Lesson 2 Come and Visit the Park in the Sky!	16	9	Lesson 4 Bonsai Goes Global Lesson 5 Taking the Sting Out of Jellyfish	16	12	Lesson 7 Malala's Fight for Education Lesson 7 Malala's Fight for Education	8
6	Lesson 2 Come and Visit the Park in the Sky! Lesson 3 A Window to Ancient Earth	16	10	Lesson 5 Taking the Sting Out of Jellyfish Lesson 6 Does It Spark Joy?	16	1	Lesson 8 Welcome to the World of Tove Jansson	12
7	Lesson 3 A Window to Ancient Earth	8				2	Lesson 9 A Country of Pole and Signs	16
						3	Lesson 9 A Country of Pole and Signs	8

教科	英語	科目	英語表現 II	学年	2	コース	A	単位数	2	担当者	佐藤 寛之
使用教科書	New Favorite II (東京書籍)										
副教材	Prominence English Communication II (東京書籍)										
目 標	①英語における基本的な文法や表現を理解し、活用する力を身につける。 ②文法事項を論理的に説明できる力を養う。 ③状況に応じた表現ができる力を養う。 ④自らの課題を分析し、改善しようと努める態度を養う。 ⑤仲間とともに切磋琢磨する態度を養う。										
備 考											

1 学期			2 学期			3 学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	Lesson 1 School Uniforms	6	7	Lesson 3 Using the Internet Lesson 4 Specialization in Sports	6	1	Lesson 9 Good Fortune Lesson 10 Barrier-Free Society	6
5	Lesson 1 School Uniforms Lesson 2 Online Addiction	8	8	Lesson 4 Specialization in Sports Lesson 5 Writing a Diary in English	4	2	Lesson 10 Barrier-Free Society Lesson 11 Food Self-Sufficiency	8
6	Lesson 2 Online Addiction Lesson 3 Using the Internet	8	9	Lesson 5 Writing a Diary in English Lesson 6 My Future Career	8	3	Lesson 11 Food Self-Sufficiency Lesson 12 Japanese Longevity	6
			10	Lesson 6 My Future Career Lesson 7 Pets	8			
			11	Lesson 7 Pets Lesson 8 A Little Escape	8			
			12	Lesson 8 A Little Escape Lesson 9	6			

教科	家庭	科目	家庭基礎	学年	2	コース	EA	単位数	2	担当者	谷 紀子
使用教科書	新家庭総合										
副教材	新家庭総合 準拠ノート										
目 標	①人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させる。 ②家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。										
備 考											

1 学期			2 学期			3 学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	青年期の自立と家族	16	8	衣生活と自立 なぜ服を着るのか 衣類材料と構成	4	1	食生活と自立 食生活を見つめよう	16
5			高齡期の生活			4		
6	学んだことを活かそう (ホームプロジェクト)	2	10	被服製作 (エプロン)	16	3		
7			11			1		
			12	食生活と自立	3			